

シグマ研究委員会幹事会議事メモ

場 所 : 東海 V; D, G, 29号室

日 時 : 44. 6. 26.(木) 13:30-18:20

出席者 : 中嶋, 森田, 百田, 桂木, 五十嵐, 飯島, 西村

議 題

1. 次回委員会の議題の選定について

- 1) イスブラ会議報告, 桂木氏に依頼する
- 2) SCISRS - II (その後), 更田氏に依頼する
- 3) 各専門部会報告
- 4) 45年度所内認可予算の報告
- 5) シールド専門委員会議事録配布, 説明
- 6) INDC 第2回会議報告, 百田委員長

2. 討議事項

1) Request List, Progress Report の作成

。10月にEANDC meeting がある。Request List の提出の要求先は委員会内とする。昨年作成したばかりなので, 追加, 修正にとどめる。昨年の状況は, i) データの存在を知らないで出した人, ii) データの存在を知っていてそれらが不十分であるとの見地からリクエストした人の2種類あった。

i) に対してはCINDA等をこちらで調べ, 整理し, JAERI-memo にして返答した。今年は, CINDAを調べて現状を知ってからリクエストして欲しい旨アンケートに書くことにする。炉定数側からの要望として7月一杯は無理。編集側としては, 整理, 検討に8月一杯かかる。この結果, 8月5日(締切り)8月31日(原稿出来上り)となった。五十嵐氏担当。

◦ Progress report は例年通り，更田氏担当。

2) 旅費の配算

| | | |
|----------------|---|---------|
| ◦ 運営費 165万の内訳 | } | 旅費 75万 |
| | | 人件費 65万 |
| | | 会議費 15万 |
| | | 印刷費 10万 |
| ◦ 保留金 150万の使い途 | } | 計算費 |
| | | 研究会 |
| | | 旅費 |
| | | 人件費 |

◦ 保留金の使途から検討したが，計算費はまだ未定，これは旅費と共に一つにして考慮すべきである。研究会は60万かゝるが，今年度の時期（12月上旬か来年2月中旬か）テーマ等，炉定数部会でさらに検討することになった。したがって保留金の配算案は未定。

◦ 運営費の，人件費65万は人事課に配算されている。今年度は時期（後半？）をみて，アルバイトの人数を増せるかどうか交渉してみる。

交渉は委員長→鈴木事務長

◦ 旅費75万は昨年度の配算を参考にして，下記案を作った。

1. 委員会 : 25万
2. 情報，評価 : 30万
3. 炉定数 : 20万

3) 基本方針

核データ情報・評価専門部会における討論を通して，当委員会の基本方針が不明確なため委員の間に釈然としないものがある旨説明報告があり，当委員会の基本方針をめぐって討論が行われた。主な内容は

1) 「炉定数の体系を作ることを目的とする」と言う43・12・23の委員長の説明では抽象的すぎるので，具体的仕事の目標を与える必要がある。

2) 核データ情報・評価専門部会では部会の目的を「evaluated data file を作ること」と説明したが、核物理側からはあまりに炉定数寄りと言う批判があり、炉定数側からは時間的にゆっくりしすぎるとの批判があった旨説明。

3) 部分的に深く追求する面と、浅くても広く cover して行く面と両者が必要である。

等々の話があったが委員会において委員の意見を聞くことになった。